

令和5年度佐賀県立21世紀県民の森管理運営実績報告書

令和6年6月28日

佐賀県政策部 政策企画監 様

さが21県民の森管理運営共同事業体
佐賀市富士町大字古場1148番地10
代表 重田 音彦

表記の件につきまして下記のとおり報告いたします。

記

1. 管理運営業務の実施状況
【別紙1】
2. 利用状況
【別紙2】 利用実績表
3. 利用状況分析報告書
【別紙3】 令和5年度利用状況分析報告書
4. 収支決算書
【別紙4】
5. 自己評価
【別紙5】 令和5年度指定管理者自己評価

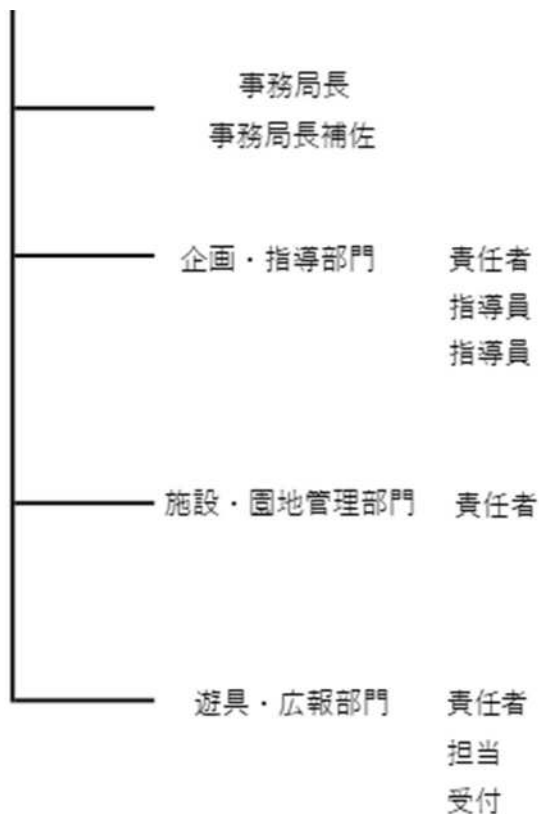
【別紙 1】

1. 管理運営組織の体制

さが21県民の森管理運営共同事業体

代表

副代表



2. 各部門の取り組み

① 総務・安全対策部門

(1) 緊急時の体制・対応、防災対策

日々の点検と職員間の情報共有をこまめに行うことでリスク軽減に努め、事故や怪我は無く安全に利用をしていただいた。危機管理マニュアルに基づき、台風や豪雨及び積雪の際は利用者の安全確保のため計5日間を休園とした。消防訓練を実施し職員の危機管理意識の向上に努めた。

(2) 利用者の苦情等トラブルの未然防止と対応策

利用者アンケート記入内容の情報共有、及び接遇・マナー研修実施により利用者の満足度向上に努めた。

② 企画・指導部門

(1) フォレストラボ

(ア) 利用状況 (別紙 1)

利用者数 12,090 人 (前年度比+3,097 名)

団体利用 145 件 (前年度比+42 件) (資料 1)

(イ) 森林環境教育の推進

学校団体や子ども会等の依頼により、学習の森を活用した自然体験プロ

グラムの指導を行った。また、季節の自然情報の掲示や北山の生き物展示を行い、来園者に北山の自然へ興味を持ってもらうきっかけ作りを行った。

(ウ) 木育の推進

木の実を使用した工作コーナー「きのみいちば」と、木のおもちゃで遊べるコーナーを常設し、森や木に親しみ楽しく学べる場を設けた。

(2) 木工芸センター等

支障木や風倒木として処理した木を乾燥させ、薪やペレットの材料として活用することで森林資源の地域内循環を図った。他にも、工作材料へ加工し使用した。

(3) 利活用促進のための普及啓発事業

自然との触れ合いの場を提供する体験イベントを年間 26 回開催し、延べ 553 人の利用があった。例年夏休みに昆虫採集に関する問い合わせが多くなるため、夏休み期間中に昆虫採集の催しを 4 回実施した。(資料 2)

③ 施設・園地管理部門

(1) 施設の維持管理業務

点検・日常の手入れは常時実施し、老朽化や損傷による危険箇所については、補修や注意喚起の看板を設置した。怪我や事故が懸念される箇所については立入や使用の禁止措置を行った。

(2) 施設遊具等の巡廻点検及び防災安全

サイクリングロード路面、側溝、安全施設、階段、手すりなどの巡視点検を週に 4～5 回行った。(土日祭日、月、金)

(3) 園地の維持管理

園地管理作業計画表に基づき実施 (資料 3)

(4) 森林ボランティアの育成及び森づくり市民活動の支援

佐賀トヨタ自動車株式会社による「佐賀トヨタの山」において、森林保全活動の助言・支援を行った。

④ 遊具・広報部門

(1) 広報の充実

自然情報やイベント情報等を SNS にて年間 60 回発信し、県民の森の魅力発信を行った。

また、園内のリニューアルに伴う施設名称の変更に対応した「RouteH(旧 遊マップ)」を新たに作成し、利用者に分かりやすい情報発信を行った。

(2) 利用者意見の反映

ウェルカムセンターとフォレストラボにて利用者アンケートを実施し、利用者の意見を伺った。結果を集計し職員間で共有し、要望や問題点については改善策を話し合い満足度向上に努めた。(資料 4)

提案型事業の推進

① クラフト体験

フォレストラボ内の「きのみいちば」にて、来館者へクラフト体験を提供し、自然への興味関心の促進を行った。

② レイクサイド北山の整備による伐採木材の活用

工作材料や薪に加工をし、フォレストラボでの工作体験や薪販売に活用した。

③ 貸施設業務

湖畔にて森林浴をしながらバーベキューを楽しめる場所の提供を行った。2,165件の利用があった。

④ 貸自転車業務

ルートHのリニューアルに伴い、前年より利用者が増加した。大人用、子ども用、二人乗り用の自転車、おもしろ自転車の貸出しを行い、15,777台の利用があった。

⑤ 貸しボート業務

手漕ぎボートと足漕ぎボートの貸し出しを行い、1,660台の利用があった。

【別紙2】

令和5年度利用実績表

	フォレストラボ (人)	ウェルカムセンター(人)	貸し自転車 (台)	貸しボート (台)	レストラン (人)	休息施設 (BBQ) (人)	計
4月	685	646	1,217	95	271	225	3,139
5月	708	808	1,404	244	204	384	3,752
6月	516	349	601	114	149	189	1,918
7月	1,302	537	746	85	155	235	3,060
8月	2,662	1,050	1,714	146	307	363	6,242
9月	1,110	1,021	2,007	217	312	193	4,860
10月	1,475	1,217	2,804	271	313	258	6,338
11月	960	935	2,143	268	250	161	4,717
12月	476	181	478	26	51	18	1,230
1月	450	185	384	7		8	1,034
2月	572	420	1,068	101	73	23	2,257
3月	1,174	457	1,211	86	119	108	3,155
R5計	12,090	7,806	15,777	1,660	2,204	2,165	41,702
R4計	8,993	5,909	12,610	1,381	2,932	1,901	33,761
前年 対比	134.4%	132.1%	125.1%	120.2%	75.2%	113.9%	123.5%

【別紙3】

令和5年度利用状況分析報告書

ウェルカムセンターにおける利用状況は、前年度より行われてきた北山湖周辺のリニューアル工事の影響から、年度当初は利用人数が前年を大きく下回ったが、工事が完了し、7月のローラスライダー、10月の北山キャンプ場が再開したことにより利用者も増加し、コロナ禍前の賑わいを取り戻した。

自主事業の主力である「貸し自転車」の利用者の多くが、コース途中にある「ローラスライダー「北山モンスターⅢ」」を利用されており、その分自転車の貸出時間も伸びたと思われる。

また、貸し遊具全体の利用動向としては、佐賀県は47%、福岡県は44%、長崎県は3%、熊本県は1%、その他不明は6%で、コロナ禍前の令和元年度は、佐賀県は48%、福岡県は38%、長崎県は3%、熊本県は1%、その他不明は10%であったことから、福岡市の人口の増加やコロナ禍の影響により、大都市である福岡県からの利用者が急増したと思われる。

フォレストラボは5月を除くほぼ全ての月で前年度の利用人数を上回り、年間の利用人数も前年比134%となった。リニューアル以降は福岡県からの新規利用が増え、年間の県別利用比率は県内が59%、福岡県が39%となった。前年度は福岡県からの利用比率は30%だったため、リニューアルに伴う広報が福岡県からの集客に繋がったと思われる。利用者が自身のSNSで施設を紹介してくださり、新規利用に繋がることも多かった。

また、放課後等デイサービス等の団体利用も増え、利用団体数は前年比140%と大きく増加した。

県民の森HPのリニューアル及び北山キャンプ場を含めたHPの開設により、県民の森全体で体験できるアクティビティを利用者が把握しやすくなった。施設の相互利用も増加してきており、北山湖周辺地域での滞在時間も長くなったと思われる。

令和5年度県有施設管理事業収支明細書

(単位:円)

収 入		支 出	
区 分	決算額	区 分	決算額
県指定管理委託料	36,937,000	人件費	21,048,390
体験教室収入	145,249	・役員手当	20,077,890
その他収入	265,417	・給与手当	970,500
		・臨時雇用賃金	
		退職給付費用	159,985
		共済費	3,308,292
		・法定福利費	3,288,774
		・福利厚生費	19,518
		需用費	4,253,398
		・消耗品費	392,531
		・修繕費	792,461
		・燃料費	259,881
		・光熱水料費	2,808,525
		体験教室費	85,844
		役務費	1,342,989
		・通信運搬費	1,023,329
		・手数料	82,720
		・保険料	236,940
		委託費	3,357,201
		・消防設備保守点検委託	56,375
		・警備委託	580,800
		・電気工作物保守点検委託	231,000
		・污水处理施設管理委託	1,040,336
		・污水汲取り委託	245,927
		・廃棄物処理委託	224,400
		・受水槽点検委託	204,600
		・建築物定期点検委託	320,650
		・その他	453,113
		使用料及び貸借料	598,652
		・自動車リース料	298,320
		・その他	300,332
		雑費	182,401
		・負担金	33,455
		・租税公課	41,625
		・雑費	107,321
		消費税	2,530,063
合 計	37,347,666	合 計	36,867,215
		収入 - 支出	480,451

【別紙 5】

令和 5 年度指定管理者自己評価

1. 総務・安全対策部門

年 3 回の消防訓練を実施し、その際に危機管理マニュアルと緊急時の対応を再確認することで職員の危機管理意識向上に繋がった。接遇研修では各自が襟を正すことで全体の意識向上と意識共有を図ることができた。また、日々のこまめな点検と情報共有が、年間を通し無事故で安全な施設利用に繋がった。

2. 企画・指導部門

個人・団体いずれも利用が増え、フォレストラボの年間来館者は 12,090 人と目標の 10,000 人を上回ることができた。年間を通して放課後等デイサービスの利用が増え、一日に 2～3 団体の利用があることも多かった。定期的で開催した生き物観察会はリピート参加も多く、季節の移り変わりに伴う動植物の変化を感じることができるため年齢を問わず楽しんでいただいた。

3. 施設・園地管理部門

施設の点検は常時実施し、損傷や危険箇所をいち早く発見・対応を行うことで事故防止につながった。

園地の除草作業は、計画に基づきルート H 沿いは年 3 回、その他の園地は年 2 回実施した、また、公衆トイレの点検は週 2 回実施した。

その他、ルート H のブロー掛けを随時実施し、支障木の伐採や 7、8 月には、大雨後の流入土砂撤去、冬季には除雪等を実施し、利用者の安全及び景観の保全に努めた。

4. 遊具・広報部門

「ローラースライダー「北山モンスターⅢ」や北山キャンプ場等の各施設のリニューアル及び名称変更に伴い、新たに「RouteH マップ(旧游マップ)」を作成し、新しくなったレイクサイド北山の情報発信を、積極的に行った。

令和 5 年 1 月より運用を始めた、「佐賀県立 2 1 世紀県民の森」全体のホームページの閲覧数も 5 年度で約 36,000 件と多くの方に見て頂いた。また、積極的に SNS 等を活用し魅力的な情報発信に努めた。

5. 総括

令和 5 年度は、北山キャンプ場も含め「レイクサイド北山」としてリニューアルオープンしたことにより、全体の年間利用者数は前年比 124%と増加した。

特にリニューアルに伴い、県において「ローラースライダー」や「ルート H」などレイクサイド北山の施設の広報を繰り返し行われたこと、また、関係施設が連携しエリア

全体の魅力を高め、情報発信を行ったことなどが集客に繋がっていると思われる。

今後も県内はもとより福岡県都市部からの利用人数を増やすため、連携を更に強化し、有効な情報発信を行っていききたい。